

江戸の銘木サンプスギを守りたい!!

ST 東京都立科学技術高等学校
チームサンプスギ



Tokyo Metropolitan High School of Science and Technology



サンプスギ林業の現状

チャアナタケモドキ(白色腐朽菌の一種)

非赤枯性腐朽菌

サンプスギの80%以上が感染

- ①感染部が材の中央付近
→ 価値が著しく低下
- ②市場に出回らない
→ 林地残材として放置
- ③森林管理はされていない
→ 高齢化による人手不足で管理スピードが追いついていない
- ④京都の北山杉のような知名度はない

サンプスギに付加価値を付ける必要がある

観光資源になり得ることから地域活性化の視点から考える



現在までの活動状況

1. 遊歩道の模型作成
遊歩道整備は普段山道を歩き慣れていない観光客でも安全に楽しめるように必要なことだと考えたことから、遊歩道のイメージを掴むためにも模型を作成した。
ただ、初めて模型を作るということもあり細部まで考えることができず課題も残った。
2. 発表会への参加
様々な研究発表会に参加し、まちづくりや地域活性化に詳しい先生方から教えていただいたり、同年代の高校生と意見を交換したりととても勉強になる経験をした。
3. モデルコース案の作成
どこにどのように作るのか、作るためのお金はどこから出るのかなど現実的に遊歩道を作ることは難しいと考え、模型の作成と同時進行でツアーのモデルコース作成を始め、現在も作成中である。

活動を進めていく中で様々な課題と出会ってきた。
サンプスギ林及び山武地域の活性化を目指していくうえで最初のターゲットとなる層を定めたほうが良いというアドバイスもいただいたが、外側に発信すると同時に、内側である地域の住民にも「地元が大好きだ」、「地元が誇りだ」と思ってもらえるような活動をしていきたいと思った。そこで、次の段階としてサンプスギの最大の特徴でもある花粉が出ないということをうまく発信していきたい。



図1 非赤枯性腐朽病に罹患したサンプスギ



図2 荒らされたサンプスギ林@山武市

今後の展望

1. フォトモによる遊歩道のモデル案作成
「フォトモ」とは「写真(フォトグラフ)」と「模型(モデル)」を組み合わせた造語のことで、複数枚の写真を組み合わせ一つの立体的な作品にするものである。この「フォトモ」で遊歩道のモデル案を作成することで模型の時より細部まで想像することができ、視覚的にもわかりやすいので第三者から見てもイメージしやすいものが作れると考えた。
2. 発信力の向上
今まで大きな広報活動をしていなく、発信力の弱さが課題の一つとなっている。突発的な需要ではなく、これからも継続的に山武地域が発展していくためにはサンプスギ林の現状を知ってもらい、どうしていけばいいか考えられるきっかけが必要不可欠だ。そこで、発信力を上げていくためにリーフレットの作成やSNSの活用にも挑戦してみたいと考えた。
リーフレット: サンプスギ林の特徴や現状、写真と共に周辺にある施設を掲載したものを作りたいと考えている。様々な場所に置くことができると、幅広い年代の方に読んでいただけることを利点として生かしたい。
SNS: 若い世代を中心に対象として最新情報を載せることで、リーフレットでは伝えることができない動画を使うことなどを考えている。また、SNSを活用することで他の似ているような活動をされている団体と情報共有などのコミュニケーションをとれることも期待している。



図3 遊歩道の模型

参考文献

- [1] 梶山恵司, 「日本林業はよみがえる」, 日本経済新聞社, 2011.
- [2] 西岡常一, 「木のいのち、木の心」, 草思社, 1993.
- [3] 森田直之, 千葉大学工学部都市環境システム学科卒業論文梗概集, 2011.
- [4] 大田裕子「スギ非赤枯性腐朽病に関する新発見」第128回日本森林学会大会論文集, p664, 2017.
- [5] 足立真梨子「サンプスギの化学的成分分析による地域再生の可能性に関する研究」第5回地域活性化学会大会論文集, pp296-302, 2015.
- [6] N. Morita, M. Nakayasu, Y. Kawabata, and H. Nakagome. "Influence of Molecular Sieves Is Added in the Thermal Decomposition of Rice Husk", International Journal of Environmental Science and Development, Vol. 8, No. 5, 2017.